

イギリスの歴史物語の流れ

2013. 11. 11.

本間裕子

◇歴史小説の起源

ウォルター・スコット (Walter Scott, 1771-1832)

『ウェイヴァリー』 *Waverley* (1814)

『アイヴァンホー』 *Ivanhoe* (1820)

『ロブ・ロイ』 *Rob Roy* (1817)

◇初期の歴史物語

ロバート・ルイス・スティーブenson (Robert Louis Stevenson, 1850-1894)

『宝島』 *Treasure Island* (1883)

『ジキル博士とハイド氏』 *The Strange Case of Dr Jekyll and Mr Hyde* (1886)

『さらわれたデービッド』 *Kidnapped* (1886)

◇帝国主義者の歴史物語

G. A. ヘンティ (G. A. Henty, 1832-1902)

『インドのクライブ』 *With Clive in India* (1884)

『ブリトン人ベリック』 *Beric the Briton* (1893)

ラドヤード・キプリング (Rudyard Kipling, 1865-1936)

『ジャングル・ブック』 *The Jungle Book* (1894)

『プークが丘のパック』 *Puck of Pook's Hill* (1906)

◇主流からはずれた視点の歴史

ナオミ・ミッチソン (Naomi Mitchison, 1897-1999)

『征服された者』 *The Conquered* (1923)

『雲の上のカッコウの国』 *Cloud Cuckoo Land* (1925)

『女性宇宙飛行士の回想』 *Memoirs of a Spacewoman* (1962)

◇20世紀の歴史物語

ジョフリー・トリーズ (Geoffrey Trease, 1909-1998)

『反逆のきっかけ』 *Cue for Treason* (1940)

『この湖にボート禁止』 *No Boats on Bannermere* (1949)

◇ローマン・ブリテンからアーサー王へ

ローズマリ・サトクリフ (Rosemary Sutcliff, 1920-1992)

『第九軍団のワシ』 *The Eagle of the Ninth* (1954)

『ともしびをかかげて』 *The Lantern Bearers* (1959)

『落日の剣』 *Sword at Sunset* (1963)

『太陽の戦士』 *Warrior Scarlet* (1958)

◇その他の歴史物語

ヘンリー・トリース (Henry Treece, 1911-1966)

「ヴァイキング三部作」 *Viking Trilogy: Viking's Dawn* (1955),

The Road to Miklagard (1957), *Viking's Sunset* (1960)

シンシア・ハーネット (Cynthia Harnett, 1893-1981)

『ユニコーン印の荷物』 *The Load of Unicorn* (1959)

◇他の時代を扱った物語など

K. M. ペイトン (K. M. Peyton) 「フランバーズ屋敷の人びと」 (『愛の旅だち』

『雲のはて』『めぐりくる夏』『愛ふたたび』) *Flambards* (1967),

The Edge of the Cloud (1969), *Flambards in Summer* (1969), *Flambards Divided* (1981)

ジャミラ・ガヴィン (Jamila Gavin) 『その歌声は天にあふれる』 *Coram Boy* (2000)

スーザン・クーパー (Susan Cooper) 『影の王』 *King of Shadows* (1999)

◇第二次世界大戦の物語

ニーナ・ボーデン (Nina Bawden) 『かえってきたキャリー』 *Carrie's War* (1973)

ロバート・ウェストール (Robert Westall) 『機関銃要塞 “の少年たち”』

The Machine Gunners (1975)

ミシェル・マゴリアン (Michelle Magorian) 『おやすみなさいトムさん』

Goodnight Mister Tom (1981)